

志望校 定めて今日の 冬日和 忠文	神戸市会議員 うらがみ忠文新聞	2013年 初冬号
-------------------------	--------------------	--------------

神戸に生きる、神戸を生きる。

- この11月19日で、3期12年の任期を終えられる矢田市長は、朝、ビニール袋を持ってジョギングし、子どもたちに「おはよう」と声をかけ、道ばたに捨てられているゴミや空き缶を拾っておられます。
- この秋の神戸市会本会議で、私は「任期を終えられる今、幸せな神戸を創るために市民に伝えておきたい言葉はありませんか」と質問しました。市長は「市民どうしが、あいさつを交わすこと。そして分がら合いの精神を高めてほしい」と答弁されました。
- 私は「市長。市長を辞められても、あいさつを交わしながら空き缶を拾うジョギングは、ぜひ続けて下さい。そういうおっちゃんがおばさんが10人になり、100人になり、1,000人...になっていく時、神戸は元気になって行くことでしょう」と提案しました。
- 市長は、11月号の広報紙で「自治のまち」と題して「例えば、しばらく顔を見ない近所さんの様子を気にかける。ゴミを拾う。個人的な行動からでもいいのです。なぜなら自治の原点は、誰かのために何かを少しでも良くしたいという思いであり、お互いを支え合い、助け合う行動を起こすことだからです」と書いておられます。なるほど!と思われませんか。

「この世に生まれたからには、人の役に立つことをしたい!」と思う人々で満ち溢れている行政や社会を創るのが、政治の仕事です。


ただふみ
うらがみ忠文

【うらがみ忠文の行動目標】

- 1、「市民と行政」が、がっぷり4つに組んで、地域の活力を生み出す。
 - ・市職員は、もっとまちに出て話す。
- 2、「神戸の元気」を取り戻す。
 - ・行政は、民間と共に、とにかく「仕事を生み出すこと」に、全力を尽くす。
 - ・「感謝する心を育む教育」
感謝心、お陰様という恩返しの方からの「やる気」の方が、欲望に基づく目標よりはるかに強い「やる気」を起こします。
- 3、「福祉の神戸」を取り戻す。
 - ・昔と違って、困った時に相談する人が身近に見つからない時代になってきました。
 - ・赤ん坊からお年寄りまで、福祉は行政の最大の仕事です。生活の「悩み、苦しみ」に、力強くしっかり応える市役所に!

- ・1969年 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- ・元、大丸神戸店「くじゃく通信」編集長
- ・元、神戸市立御影北小学校 PTA 会長
- ・NPO 法人 障がい者就労支援作業所理事
- ・1995年 神戸市会議員初当選
- ・2011年 神戸市会議員5選
- ・無所属。所属会派「住民投票☆市民力」団長

元市長に
変わりました。
しっかり
提案して
まいります。



議会の外でも、私は 毎日「発信」しております。

- 携帯電話「ブログ」で！

<http://uragami.mobi/>



- パソコン「ブログ」で！

うらがみ忠文ブログ

検索

- フェイスブックも始めました。
フレンド申請、お待ちしております！

- ★ ホームページは、毎月1日に更新！

うらがみ忠文

検索

- ・文ちゃんの「ひとりごと」
- ・月刊「大演説」
- ・今月のトピックス
- ・神戸の四季の俳句



自画像です！

10月30日(水)のブログ

この秋の神戸市長選挙、市会議員補欠選挙の時のことです。

雨の激しく降っている夕方、街を歩いていますと、選挙ポスター掲示板を熱心に見ておられる幼い子ども連れのお母さんがおられました。傘をさして、長い間たたずんでおられるのです。

私は、はっとしました。

自分の活動や心構えを反省しました。

お母さんの思いに応えられるだけの仕事をしているだろうか、涙ぐむほどの思いがこみあげてきました。

市民ひとりひとりの生活や人生の悩みを背負い込んで、市役所に届け、議会で論議して、少しでもみんなが幸せを感じるような神戸を創って行かなければなりません。

私はその仕事を、命懸けでやっているだろうか？

甘いのではないだろうか？

子ども連れのお母さんに教えられました。

がんばってまいります。

感謝、感謝。

お陰様で、ブログは8年目を迎えました。